

◎緑あふれる街づくり

7組 小原 正行

去る10月30日に西川アイプラザに於いて、第28回岡山市緑化推進大会が開催され、田中野田の1号公園と2号公園が、良く管理されているということで表彰されました。

これは、年2回の町内あげての清掃に加え、季節に合った除草剤の散布・毎日のごみ拾い・草花の植栽など、日頃から心ある人達の奉仕によって維持されていることの証であり、地域の誇りでもあります。

市内の他の公園でも、良く管理されている公園を見るとその町内の人達の人柄が伺えるところに、そのご苦労がよく判ります。

ご承知のとおり樹木は二酸化炭素を吸収し、空気を浄化してくれると言われておりますが、我々の住んでいる地域では、屋外に出れば緑の山が見え、家には樹木が植えられ、緑を増やすと言った意識が希薄で、日常生活の中ではその必要性があまり感じられないのが実情ではないでしょうか。

とは言え、誰も緑の多い町を嫌がる人はいないと思うし、常緑樹には潤いを、落葉樹には季節の移ろいを感じ、人間は樹木によって自分の知らないうちに癒されているのではないのでしょうか。

何はともあれ、まず身近な所から緑を増やし、育成することから始まるのではないかと思います。これと平行して、幼児期から樹木の大切さを育む教育が不可欠であり、特に児童公園など公共の物は皆で保護すると言った精神を、市民一人ひとりが心に刻み、その推進に努めなければなりません。

今後とも、皆様の御協力をお願いいたします。

◎中学校レッツクリーン作戦に参加して

8組 杉山 幸子

12月13日暖かい日差しの下、御南中裏笹が瀬川土手沿いを大勢の人が参加して年末清掃に励みました。男の人達は、主に足場の悪い法面の草を刈り取り、私達はビニール袋を手に空き缶、ペ

ットボトル、ごみ等を仕分けし、中には女性の方でも草刈機を上手に使っておられました。

被われていたコンクリートブロックも、すっきり現れ、みるみる内にきれいになっていきました。

草は出来るだけ河川敷に落とさないようにとのことだったので、袋に詰めて中学校の収集場所へもっていきました。

今回は不法投棄された粗大ゴミはありませんでしたが、車からの投げ捨ては相変わらず多く、一人ひとりが気をつけてもらいたいと思いました。

また、河川敷にあった樹木が切り倒され、田中野田に住んで約25年、見慣れていた自然が消えてしまい、一抹の寂しさを感じました。

この後、景色がどの様になっていくのだろうかと思いつつ、地域の一人として、見守っていきたいと思っております。

◎秋祭りの思い出

6年 高須賀 健太郎

僕は1年生の時から6年間秋祭りに参加してきました。高学年からは、大みこしをかついで町内を練り歩きました。今年は6年生の男子6人が中心になってかついだのでとてもおもしろかったです。

白髭宮については自由行動なのでいろいろなお店をまわったりするのがとても楽しかったです。田中野田の町内はとても広くおみこしをかついで練り歩くのは、きつく大変だったけど、6年間、友達といっしょに参加できたことは、とてもいい思い出になりました。

♪秋まつり

